

Horizontal World

イダラク

R-18

for  
Adult Only



すべての  
始まりでした

っ…!?  
マリー…!?  
ちよつと  
待つ…

こちら  
でしょうか  
……?

先生…?

これが…

本日は  
シャレーの  
当番として

トリニテイから  
参りました  
伊落マリーです

先生と  
わたしが、

はあ

はあ

おなじ罪を  
負うまでの

誠心誠意  
お務めを…

あ…



こちらから  
いらっしやる  
気配がして…!

どちらにも  
見えなくて…  
でも、



せ、先生…!!?  
これは…わたし  
そんなつもりじゃ…  
この時間に  
シャイレに来る  
予定で…っ



いじめなさい



でも、  
戻ってきてくれて  
よかった



告白…  
させてほしい…

それで、その…  
お話というのは…?

はい…

マキ



私の…業を  
マリ…  
君に…



…落ち着いた?  
はい、  
すみません…  
取り乱して  
逃げ出して  
しまうなんて…  
わたしの  
精進が足りない  
証拠です  
本当はまだ少し  
ドキドキして  
ますが…  
はは…

トリニティ総合学園/シスターフッド  
伊落 マリー

私の自慰を  
見届けてほしいんだ



だから  
マリー、

私が「先生」で  
なくなる瞬間、

罪を犯す  
瞬間を、

君に…  
目撃していて  
もらいたんだ

こんな私でも…  
赦しを乞えるのなら

どうか  
……

その、突然の  
赤裸々な罪の告白に、

君にしか…  
頼めないんだ…

未熟なわたしは  
しばらく声を  
発せませんでした

このキヴォオトスの  
多くを見るもの、  
シャールレの先生

そのご活躍の  
裏ではずっと、

ひとりの男性として、  
抗いがたい罪の意識に  
苛まれていたのでしょう

ですから、  
シスターを志すものとしても

この方に  
寄り添って差し上げたい

先生、  
どうか

顔を  
お上げください

それでも  
わたしは…

以前も  
お話し  
とりました

つらい時は、

先生を心から  
尊敬しています

わたしを—  
頼ってください  
良いですよ

……

そう…きつと  
これは試験

ありがとう  
……

ありがとう、  
マリー……!!

えと…  
じゃあ、

す、するね…?

は…  
はい…

わたしが  
先生のために、

わたしだけが  
できる事――

ちゃんど…  
見ててね…!!

しゅっ

しゅっ

こ…これが

…男性の

は…  
っ

こ…  
これは  
本当に、

本当に、  
わたしが、

見てもよいもの  
なのでしようか…?

だめ…!!  
目を離しては…っ  
先生の罪の赦しを  
祈って差し上げないと…!!

あ、あんなに腫れて…  
痛くないので  
しょうか…?

先生のお顔も紅潮して  
だんだんと  
動きも早く…

あ…  
先端からなにか溢れて…  
それとも…今だから  
こうなって…?

息も…荒くて  
…とても  
恍惚とした…

…っ!?!  
わたし…  
なにを不埒な考えを…

わたしの役目は  
しつかりとこの  
見届けること  
マリー…!!  
マリー…!!

身が  
精る

びゅっ



先生の、  
お射精の……



はあ  
少し…気持ち  
楽になったよ…

はあ  
ありがとう  
マリー……



いまは、不思議と……  
目が離せません……



さつきまで、  
直視するのにも  
精一杯だったのに

その……  
また、頼んでも  
いいかな……？

あのさ……  
マリー……



頻度はおおよそ  
週に2、3回ほど

様々な時と場所で  
「告解」を行いました

わたしと先生は  
お互いの  
予定に合う形で、

今回のことを  
きっかけに、

※きちんと後処理をしています

時にはこんな  
ところでも

はあ...

すみません、  
先生...

このような  
はしたない格好で

そんなこと...

こっちこそ  
ごめんね...  
運動中に突然、

しかも  
こんなに狭い所...

いいんです

今、このあたりで  
人のいない場所は、

近い...  
...っ

ここしか無いと  
思うので...



許される  
わけが...

だ、だめ...  
そんな不埒

...!



...唇に  
触れて  
しまいそう...



...頭が  
ポーツとして...

音も  
伝わっても

これ...  
直接...



よ...よければ

いちご下っ

えっ

あっ

もう、  
ヤバッ...



びあ...!  
備品にかかっては  
大変です...

ごめん  
もう  
出そう...



ごめん  
マリーツツ

あっ!  
あっ!

熱...っ!?

この...  
熱さ...

先生の  
温もり...

そのまま...  
ここに...

わたしは...

あああ...  
ごめんね...

拭くから...

気付くことが  
できませんでした

祈りのための  
両手は、

ト、トイレ  
近くに  
あったから、

ちゃんと手を  
洗って...!

とうとう...

ほど  
解かれて  
いることに...



「近頃、マリーさんを見かけませんが…」

わたし、は……



このままではわたしは、

いけません……



……っ!

きっと、ゆくゆくはシスターフードを代表する偉大なシスターに……



「おそらく先生のところではないかと……」

最近はお手伝いやカウシセリシグなどされているようで……」

「先生が……? : わかりました」

「しかし、流石はマリーさんですね先生にも頼りにされるなんて喜ばしいことです」

「彼女はまた修行中の身ですが……」



……わたしの……

……望み……



……

わたしの望む姿がより、遠く……っ



先生の、お力に、

なるどころか……



違うのです、サクラコさん……

むしろわたしは、



自分は、未熟者なのです、と

きちんとお伝えしないと

先生、急なご連絡明日のことな私の部屋までよろしいでし以前、私が体調来てくださつ問題ないかと

このままではいけない



他者を救う存在からは  
程遠い、

罪に絆される  
愚かな子供であると

はい……  
ここなら……  
何も心配  
いりませんから……

ほ……  
本当に……  
いいの……？  
はあ……っ

マリーの部屋で、  
なんて……！

先生の業と  
相對するには、  
力不足だと

はあ……！

はあ……



伝え、ないと……  
だから、これが

これが、最後の……



そろそろ  
ティッシュか  
なにか、  
貸して……  
もらえると……

はあ……  
はあ……  
はあ……

最後……の……

「めんなまこ……」

「めんなまこ……」

部屋……が……

よ……これ……

は……  
は……

「ぢぢ……」



少しずつ…

少しずつ  
目を開けると  
そこでは、

はあ

はあ

先生がお子種に  
「おみれ」に  
「おみれ」に  
「おみれ」に  
「おみれ」に

自洗に  
耽っておいででした

はあ

幾度となく  
目にしてきた  
先生の「それ」は

言い訳の  
しよのない、  
ただの自慰行為…

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

どなたを想っての  
ものだったのか…

でも、今は

はあ

今だけは、

はあ

この瞬間だけは  
間違いなく

はあ

はあ

はあ

わたくしを  
想つて！





だつてっせんが...

はあ...



せんぶが、きもちいい...

こんな...ずるい...っ!

はあ...



はあ...



はあ...



おねがい、マリー...



だから...おねがい...



マリーの...大事なところに出した...!

出る...出した... マリーの...



ああ…!

あ…

ひびく…

ひびく…

ひびく…

カアアア

ひびく…

ズル…♡

ママの  
ママの  
おま…

おわっ…♡

びび…

びび…

びび…

びび…

びび…

びび…

びび…

あ…



はっ…

その言葉が  
わたしの口から  
出ることは

はっ♡

「先生、これ以上は」

はっ…

はっ♡

くちゅ…

はっ…

はっ…

はっ…

みち…





—あ

はへ?

あえ

終ぞ  
無く—

三々三々

三々三々

三々

三々



愛欲に墜ちた  
わたしには—

だいたい…  
です…うぶ…



罪深い  
わたしには…っ、

大丈夫…?

マ、マリー…?

これは…  
罰なのですか…?



なんと…いう…事…っ

ああ…



喪失<sup>うしな</sup>つた  
痛みすら

与え  
られない...

まじこらえ

は...は...  
わたし...  
です...から...  
おっ...  
は...  
は...



す...す...

ぜんぶ...  
は...は...

本当は  
ぜんぶ...  
おっ...  
おき...  
は...

きみ  
なんだよ...

マリリン...

びびびびびび

君のことを  
忘れるくらい、

君のことを  
想ってしまった

「生徒」なんて  
イワケだ…っ

汚して…っ、  
犯して…っ、

独り占め  
したいなんて、

そんなの

ひとりっか  
いないっか

だってマリー  
君がっ

やん やん

この世界で  
誰よりも

清くて、

かわいくて、

ヒロいからっ!!

先生…  
どうか  
ご容赦を…っ

は…っ…っ…っ

は…っ…っ…っ

は…っ…っ…っ

これ以上  
わたしを…

わたしの  
罪悪感を

は…っ…っ…っ

は…っ…っ…っ

は…っ…っ…っ



赦される、  
はずがないのに

はっ...  
はっ...

は...



わたしの  
わだかまりを

しあわせ  
幸福で  
塗りつぶさないで...

あっ♡  
あっ♡

あっ♡  
あっ♡



え...今  
これ...

へっ...  
へっ...  
へっ...

休憩中



往くべき道に  
背くことで

わかたし

動いて



だめ...♡

うっ...の  
止められ

...!!  
喜びを  
感じるなんてっ

ちよっと  
待って!!



うお...っ

あ...っ

あ...っ

あ...っ

あ...っ

よりキツく  
締まって...!

啜えこんで  
離さない...っ

シスターが  
持っちゃダメな  
名器でしょ...!

ただでさえ  
マリリーの膣内  
小さいのに

うお...っ

こ...これ...っ



これ以上は  
もう...ヤバイ

め...っ

マリリー、  
顔に出...

せんせ...っ



でも...



ここまでして、  
それは...

何よりも、  
大罪...です...っ

証を...  
立てないと  
いけません...っ

あ...

これが...

不埒な...姦淫  
などではなく...

んっ

あ、  
愛ゆえの、

いのちのための  
儀礼なのだ...っ

それって

そのため  
には...

あと、少し



愛と  
みなされるには  
あと少し…

足りない…かも…

しれません…

♡♡♡



先生のしあわせは、  
わたしのしあわせは、

はっ  
はっ



んは…  
は…

先生への祈りは、  
わたしたちへの祈り

でしたら、  
この罪の在処は、



出るっ  
出すよっ

絶対すごい量  
出るから

覚悟  
してねっ

あなた  
先生でも、

わたしでも  
なく—

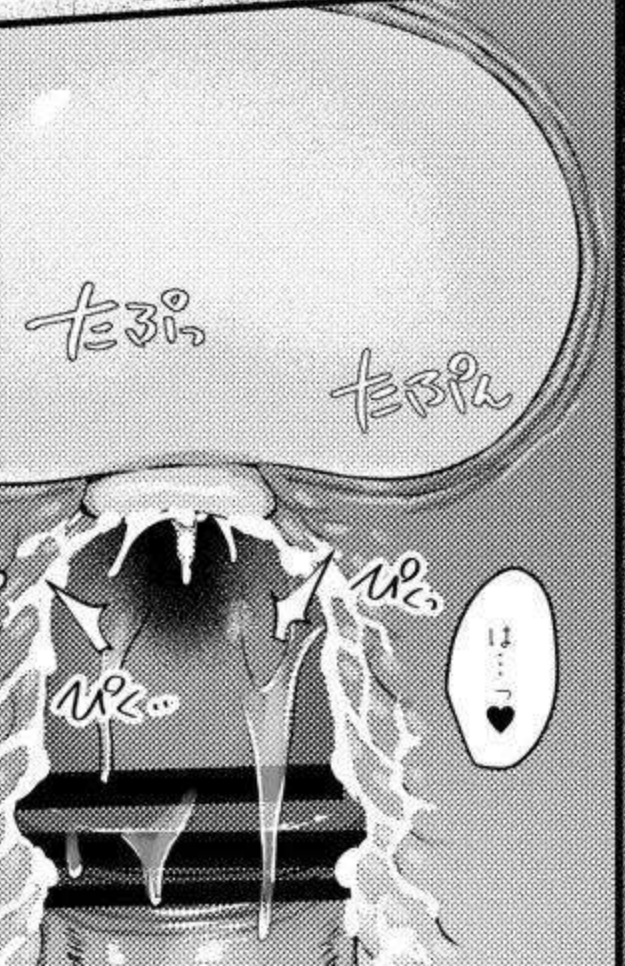
シスター  
聖女より  
先に、

聖母に  
なる事をつつ



わたしたちだけの…♡

先生の道とわたしの道と





それぞれが  
積み上げてきた道

並んで  
進んでいたはずの  
正しい道から、

はっ…

はっ…

今回…脇道に  
逸れてしまいました



んお…

まお…



でも…  
逸れた先の、

そこでのみ、  
交わる場所があると




わたしはそれを  
知りました

互いの罪を、

罪で  
重ね合わせる、







ここは…  
墮落の十字路

END

Iochi



Mari



Horizontal World

# あとがき

またのんき▼です。▼は発音しません。  
本書をお買い上げ頂き、またこんなところまでお読み頂き、まことにありがとうございます。

書籍版では時間もスペースも(心の余裕も)ありませんでしたので、こちらで少し書かせていただきます。  
夏から変わってない…。

今回はマリー本です。  
自分はこの子を「スケベのワイルドカード」みたいに考えているフシがあり、それだけにどう描くか悩ましく  
また、自分なんぞが描いていいのかと気が引けておりました。  
しかし同人、自分にとっては年2回の好きなキャラで好きに話を描く機会、素直になろうと踏み切りました。  
ミヤコのときもそうだったろうと。身を委ねるべきだと。対峙するべきだと。  
心のうちから湧いてきた感情、「マリーとの相互オナニー描きてえ」と…。

本音を言えば、真の清楚であるマリーを扱うにあたって倍くらい時間をかけて倍くらい描きたかったです。  
じっくりとマリーに先生の自慰を見せつけて葛藤させたかったし、互いにいじっている時間をもっと  
長く欲しかったし、本番も長くねっとり描きたかった…。  
マリーが自分で触り始めて陥落するところまでで区切って前後編にするかとても悩みました。  
しかし会場本などの短いもの以外で本番の無い本を出すことに強い抵抗があるのと、やはり  
2023年をきっちりと終わらせたかったのもあり、少々強引でも今回描き切りました。  
結果、密度は高くなったのではないかと考えております。

とはいえ、もう少し1ページをゆったり描きたい気持ちが強くなってきたので、次こそ自分は  
本文24pという軛から解き放たれるべきなのかもしれません。現状28~32p相当はあるんじゃないでしょうか？  
他の人の漫画だと気にならないのに自分の原稿で1ページに3, 4コマ程度だとスカスカして見えて  
どうにも落ち着かないんですよね。はじめてスカート履いたTS娘かな？  
あとはなるべく本文描く時間だけでも一ヶ月は確保したい…。でも半年後の自分を信頼できない…。

23年は上半期に続いて下半期も少々しんどく…。言える範囲でなら工事の騒音とか家のこととか仕事絡みとか。  
そんななか、自分でが好きで出しているイロハ本やミヤコ本、別ジャンルで恐縮ですが桃華本には  
皆様から多数のあたたかい感想をいただけて、それが非常に支えになりました。  
どれも身に余る評価でプレッシャーもあるのですが、そのおかげで毎度真剣に向き合うことができています。  
来年…もとい本年もどうぞよろしくお願いいたします。

もし、今作がお気に召しましたら過去作品も見ていただけると幸いです。  
恥ずかしながら自分は好みははっきりしており、それゆえ作品の幅は広くはないのですが、一作が良ければ  
ほかも概ね大丈夫なのではないかな…とっております。

表紙デザインは前回と同じく柊椋先生(@hiiragiryu)です。  
イロハ本の流れを汲みつつマリーらしく仕上げさせていただきました。  
いつもありがとうございます！

商業イラストを色々やっているのもそっちも見てもらえると嬉しいです。  
今回までの自分の作品を気にいって頂けたなら、こちらは何卒応援の程…！  
情報はtwitter(X)等で確認して頂ければなど。

では、また機会があれば。

2024年1月1日  
またのんき▼

差し支えなければコメントやtwitter(X)等誌名付きで感想を呟いてもらえればそれ以上の喜びはありません。  
「よかった」だけでも。次の作品の活力になります！ほんとに  
直接私宛でなくとも勝手に見ますのでそこは何卒ご了承ください…。  
※twitter(X)はサーチバン等で見逃してしまう可能性もございます。

📧 #のんきブック #伊ダ落